

## 八十七回生日帰りバス旅行

87 回生 川崎晴代

秋も一段と深まった 11 月 7 日の朝 8 時、28 名を乗せたバスは明石を出発しました。お茶と差し入れのお菓子を頂き、お喋りに夢中になっている間に最初の目的地の「城崎温泉」に到着。ほのぼのとした温泉情緒が漂い、浴衣に下駄で外湯めぐりとまではいかないまでも、川沿いの風にそよぐ柳、さまざまな切絵模様が絵付けされた街燈等も風情があり、思わず見入ってしまいました。街巡りの後はお楽しみの昼食。新鮮な魚貝を使ったお料理をビールでのどを潤しながら、ゆっくりと頂きました。

午後は雨雲を気にしながら但馬の小京都「出石」へ。秋色の漂う出石城跡、日本最古の時計塔の辰対楼は今でも午前八時と午後 1 時に時を告げる太鼓が鳴っているとか。お腹一杯と言いながらも早速出石そばのお店へ。挽きたて、打ちたて、茹でたての「三たて」が伝統の皿そばを、薬味のネギ、卵、山芋でペロリと五皿。最後にそば湯まで飲み干し大満足。何とか天気も持ち直し「海鮮せんべい但馬」で休憩と買い物を済ませ帰路に。車中ではビンゴゲームで大興奮。賞品は地元特産品。何と臨席の友人が一等の地酒をゲットしました。

美味しいものを味わい、心休まる風景も然る事ながら、同期生の方々と沢山お喋りし、冗談で爆笑したりして、楽しい時間を共有出来たことがこの旅行の一番の収穫だと感じ、バスが到着するころには、とても幸せな気分になりました。

皆様、健康に留意して次回も元気で会いましょう！

